

平成 24 年 2 月 21 日

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
主幹(環境影響評価・化学物質) 近藤(972-2676)
有害化学物質対策係長 福永(972-2677)

平成 23 年度地下水の水質常時監視における周辺井戸水調査結果について

平成 23 年 12 月 27 日に公表しました熱田区古新町の地下水汚染（ふっ素 0.87 mg/L）に係る周辺の井戸水調査の結果について、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 調査日 平成 24 年 1 月 27 日
- 2 調査対象 最初に汚染が発見された当該井戸及びその周辺井戸 合計 2 本

3 調査結果

当該井戸及び周辺井戸で、ふっ素が環境基準を超過しました。

単位：mg/L

調査地点	井戸 1(当該井戸)	井戸 2(周辺井戸)	環境基準	
所在地	熱田区古新町	熱田区古新町		
当該井戸からの距離	—	西 60m		
用途	生活用水（手洗い）	工業用水		
調査項目	ふっ素	0.85（1.1 倍）	0.94（1.2 倍）	0.8 以下

※（ ）内は、環境基準に対する倍率です。

4 今後の対応

井戸の所有者に調査結果を連絡し、井戸水を飲用しないように指導しました。

環境基準を超えた井戸については、今後も定期的な監視を行います。

また、汚染原因の究明のため、新たに汚染が見つかった井戸周辺の事業場における有害物質使用状況等の調査を行います。

なお、各調査地点の周辺 250m 以内に、この 2 本以外の井戸は確認されておりません。

<参考>

1 位置図



地図データ ©2012 ZENRIN

2 環境基準を超過した物質の毒性について

・ふっ素

急性毒性： NaF を 6 mg/日以上摂取し続けていると、ふっ素症となり、体重減少、悪心、嘔吐、便秘等をきたす。SiF₄では、胃軟化症、神経痛等を起こす。

一般成人が一度に 100 mg 以上摂取すると、腹部の激痛、嘔吐、悪心を起こし、2500 mg 以上の摂取で中毒死する。

慢性毒性： ふっ化物で中毒したラットの場合、腎臓における脂肪酸酸化酵素活性が著しく減少し、また、肝臓中の窒素及び脂肪含量が減少することが見いだされている。また、ふっ素中毒では、炭水化物の代謝障害も見られている。

飲料水等からふっ素を長期間過量に摂取した場合、飲料水のふっ素濃度2 ppm以上で斑状歯を生じ、8 ppm以上で骨硬化症となる。ふっ素には動物実験で発がん性を示すデータがない。

*100 mg は、今回の測定値 (0.94 mg/L) では、水 110 L に含まれる量になります。

出典「改訂3版水道水質基準ガイドブック」
(下線部分は、名古屋市において挿入しました。)